

平成26年度 鳥取県中部沿岸土砂管理連絡調整会議 議事概要

日 時：平成26年10月29日（水）午前10時から正午

場 所：中部総合事務所 B 棟 2階 205 会議室

1 議事

(1) 目安とする浜幅について

- ・効果的・効率的なサンドリサイクル実施のため、評価基準「目安とする浜幅」を検討。
- ・海岸法の理念である、「防護」、「利用」、「環境」の観点から評価。

「防護」… 越波しない浜幅をシミュレーション検討し、25mと設定。
「利用」… 「ビーチ計画・設計マニュアル（国土交通省港湾局）」より、40mと設定。
「環境」… 定量的な評価が困難なため、現状環境を維持保全しながら工事実施することを働きかける。

<会議での主な意見>

意見) 各海岸によって利用状況は当然異なるが、これまでと視点を変えて評価するという事は大事なことだと思う。

(2) サンドリサイクル事業の効果検証及び課題抽出

サンドリサイクル実施状況、評価分析、今後の方針を各海岸ごとに説明。

[検討対象海岸：天神川右岸地区、天神川左岸地区、由良川左岸地区]

<会議での主な意見>

意見) 天神川右岸の漁港海岸の一部が薄くなっており、サンドリサイクルの調整をお願いしたい。

回答) 管理者と調整し、効果的な対応をさせていただきたいと思う。

(3) 今後の取組（各施設管理者との意見交換）

■ 天神川流砂系総合土砂管理計画（案）について（倉吉河川国道事務所）

- ・天神川流域の総合土砂管理計画を鳥取大学協力のもと作成中。
- ・土砂の連続性を確保するため、既存ダムのスリット化や土砂の固定化を防ぐことを目的として、礫河原の再生を目標とする。
- ・天神川河口部はフラッシュできず砂州がついており、未だメカニズムの解明ができていない状況。

<会議での主な意見>

意見) 既存ダムのスリット化は実施可能か。

回答) 数も相当数になり事業費も大きくなるが、着実に進めていきたい。

■ サンドリサイクルにおける漁協調整について（鳥取県中部総合事務所県土整備局）

- ・中部ではサンドリサイクルが地元（漁協等）に理解されないため国に迷惑をかけた経緯がある。
- ・このことから、取組みの意義を広く一般の方に理解していただく場を設けてみてはという提案。

<会議での主な意見>

回答) 皆生での利用者懇談会を参考に。その中部版というイメージで対応されてみては。

現対応状況：懇談会までは行かないが、事業実施前に漁協・地元と相談し理解を得ているところ

2 その他

■ 簡易な移動装置によるサンドバイパス試験工事の取組みについて（事務局）

- ・低コスト化・地球環境保全に配慮し、鳥取県の地域特性に適合した新たなサンドリサイクルやサンドバイパスの手法の開発・導入を目的としている。
- ・26年度、酒津漁港にて試験工事を実施。
- ・実用化を目指し検討委員会を開催。（平成26年10月、平成27年3月実施）

現対応状況 ⇒ 港湾漁港への活用に向けPR（市長村等）。実用化に向け28年度予算調整中